

緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.188

発行:令和3年2月1日

講習会のご案内

(お申込み・受付は前月の20日から)

「美肌・リラックス」～バスソルト・クリーム作り～

とき 令和3年2月4日(木) **800円**

午後1:00～3:00 定員10名

講師 ハーブコーディネーター

建部 久美子 さん



「果樹の選定と栽培管理」～リンゴ、サクランボ、アム～

とき 令和3年2月14日(日) **無料**

午後1:00～3:00 定員20名

講師 ふじくらますも果樹園

代表 増 茂 聡さん



「フラワーアレンジメントづくり」

とき 令和3年3月7日(日) **2,000円**

午後1:00～3:00 定員10名

講師 マミフラワーデザインスクール

専任講師 澤沼 雅子さん



歩くスキーセットの無料貸出

①スキー板 ②スキーポール

③スキー靴(靴のサイズ調整のため、靴下をご持参ください)

貸出期間:2月末日まで

受付時間:10時～最終16時まで

休館日:毎週月曜日

積雪、コース状況などは電話でご確認ください。

桜の剪定枝無料配布のお知らせ

市内公園の樹木管理作業時に、不要になった桜の剪定枝を初春の切り花として楽しんでもらえるよう、無償で配布しています。

応募方法:通常はがき「桜の剪定枝希望」と記入し、郵便番号、ご住所、お名前を記入の上、宛先:〒078-8327 旭川市神楽岡公園1番 旭川市緑のセンター宛にお送りください。

お一人様1枚とさせていただきます
2枚目以降は無効となります

※当選者が50名のため、応募多数の場合は抽選となり結果は2月9日以降に、はがきでお知らせいたします。
応募締切:令和3年2月8日(月) **当日消印有効**

展示会のご案内

「神楽岡公園の自然写真展」 * 2021年 1月 8日(金)～ 2月28日(日) * 作品提供:阿久津 弘明 さん
令和3年4月以降の展示会の予定 「野の花写真展」 作品提供:神田 亘雄さん

【休館日のお知らせ】

4月～10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月～3月は毎週月曜日が休館日です。(")



〈園芸の基礎知識〉 植物の根の働き

～ 養分の貯蔵庫となる根 ～

■根の肥大とは

根は陸上植物が地中から養水分を吸収するために分化させた器官です。根は、土の隙間を伸びていくために細長い糸状をしているのが普通ですが、木部と師部間の細胞が分裂できるようになると、根軸の直径方向に肥大が起こり、塊状となり塊根になります。この塊根はデンプンなどの養分を蓄える貯蔵器官の役割をします。

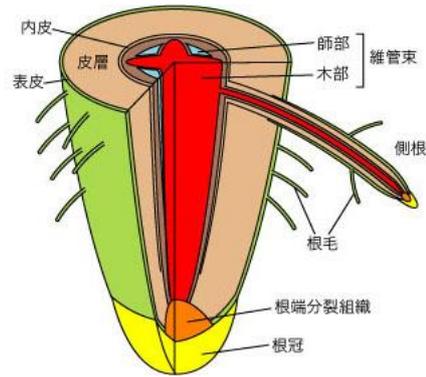
■直根の成長と肥大

直根類の肥大組織は木部と師部です。ダイコン、カブ、ゴボウなどの肥大根の大部分は木部が占め、師部の割合は少ないです。このようなタイプを木部肥大型といいます。一方、ニンジンなどの肥大根は、木部が肥大した中心部と師部が肥大した肉部とからなり、とくに師部柔組織の発達が顕著でその割合が高いです。このようなタイプを師部肥大型といいます。

■塊茎・塊根などの成長と肥大

塊茎・塊根は植物にとって不適な環境に耐えるための特殊な器官ですが、その生育と肥大の様相は様々です。塊根はサツマイモのように根が肥大して多くの貯蔵養分を含むもので、ダリアやランタナなども含まれます。塊茎は地下茎の先端または一部が球状、または塊状に肥大したもので、ジャガイモやアネモネなどが含まれます。球茎にはサトイモ、グラジオラスなどがあり、いずれも地下茎が短縮して球状に肥大し、表面は薄い鱗皮に覆われています。根茎は、水平方向に伸びた地下茎が肥大したもので、レンコン、ショウガ、カンナなどがあります。

(参考資料: 研成社「根物語」、農山村漁村文化協会「園芸学の基礎」、筑波大学生物学類 Botany WEB「根の内部構造」ほか)



ちょっと楽しい講座のご紹介

「多肉植物でクリスマスリース作り」から



「これは美しい！家族に自慢できます！」今年のクリスマスはご家庭内でゆっくり楽しんでいただこうと、12月初めにフラワーマスターとして活躍されている山本裕美さんを講師に「多肉植物でクリスマスリース作り」の講習会を開催しました。

「密」を避けて10名の受講者の皆さんが、さっそくリースづくりに取り組みました。直径13cmのドーナツ型寄せ植えリースコシートの写真1のように多肉植物用の土を充填します。そこにベン

ケイソウ属のエケベリアやセダムなど数品種、およそ30株を植えこみます。これらは1～2年生の若苗で、根が少ないので、挿し木の要領で植えつけます。まず、先に比較的大きな苗をバランスよく植えつけます。そして写真2のようにすべての苗を植えこんで完成です。

これらのベンケイソウ属の植物は夏型、春秋型、冬型が混在していますので、成長期が異なります。

冬期間は水のやり過ぎに注意して、少ない回数で根元にあげます。夏の間は直射日光に当てないようにします。秋には紅葉して一段とカラフルな彩を楽しめます。



植物の病害虫

その59 「アマリリスの赤斑病」



初期の症状



まん延の症状



花梗の症状

1 発生しやすい植物

アマリリス、グラジオラス、クレステス、サギソウ、ディサ、トキソウなどに発生します。

2 被害

盛夏を除く4月～10月に多発します。初めは不規則な赤色の斑点を生じます。葉に生じた斑点は赤褐色で紡錘形に拡大し、同心円状の輪紋を生じます。その後病斑上に暗褐色のかびを叢生して、末期になると病斑上に黒色の小粒点が密生します。

花梗では、赤色小斑点はやがてやや盛り上がった赤褐色で縦長の条斑になります。そのため病斑を生じた側に曲がったり、病斑に亀裂を生じたりします。

鱗茎には赤褐色で円形または随円形の病斑を生じ、のちにその病斑上に黒色の小粒点が密生します。化学的防除に係る登録農薬はありませんので、耕種的防除対策が重要です。

3 生態

病原菌は、スタゴノスポラ クルティシー (*Stagonospora curtisii*) と不完全菌に属する糸状菌(かび)であって、15℃以上 30℃以下で生育し、適温は 15℃です。病原菌は被害残渣とともに土壤中に残り、柄子殻を形成して越冬します。気温が高くなるとその柄子殻が成熟し、柄胞子が風によって飛散して第一次伝染します。

葉や花梗に生じた病斑上に生じる黒色小粒は柄子殻で、この柄子殻の中に柄胞子が形成され、柄子殻が成熟するとその表皮を破って柄胞子が外に飛散して第二次伝染します。

4 防除法

耕種的防除

- ① 連作を避ける、病気にかかった植物の残渣を集めて焼却します。
- ② 密植を避けて過繁茂にならないような肥培管理を行い、風通しを良くします。
- ③ 発病した葉や花梗は見つけ次第除去して焼却します。
- ④ 発病した球根は使わないようにします。
- ⑤ 排水不良地では排水を改善します。

シャコバサボテンを毎年楽しむ

シャコバサボテンはクリスマス前後に花を咲かせることから、別名クリスマスカクタスとも呼ばれます。

「買った時は花が咲いてきれいだったけど、その後はさっぱり??」ということがないように、ポイントをつかんで毎年、かわいい花を愛でたいものです。

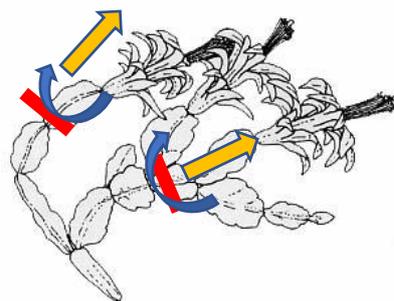
1 花が終わったら

花が終わった後もそのまま暖かい所に置いておくと休眠せず新芽を出し、翌年に花を咲かせなくなってしまいます。花が終わったら花がらを摘み取り、室温5°C~10°C程度の明るい所に置き、水を出来るだけ与えずに休眠させます。

2 休眠が覚めてからは…… 3月下旬頃に温度を10°C以上に上げ、水を与えて休眠から覚まさせますが、その直前に昨年伸びた茎葉を1~2枚残して、上部の葉をネジリながら摘みします。このことによって新しい芽が分枝してその先端にたくさん



の花芽を付けることとなります。葉摘みは鉢全体のバランスを考慮して、
— 線のような範囲で行うと良いでしょう。



3 植替え……一般の鉢物と同じように2年に1回植替えをします。植替え時期は、前頃の摘葉後にしますが、用土は一般的に、小粒の赤玉土、ピートモス、珪酸塩白土を等量混合したものが良いといわれています。また、鉢はひと回り大きなものを使うと良いでしょう。

4 殖やし方(葉摘みした茎葉で挿し木)……① 2節付いた茎葉の切り口に発根剤をつける。② 茎葉を3本程度を1株にまとめて水ゴケで巻き、輪ゴムで留める。③ 6cm程度のポットに入れて水ゴケを乾かさないようにすると 2~3週間で発根するので3号ポットに植替える。

展示室の植物 (94)

フィカス・ベンジャミン 学名: Ficus benjamina クワ科 フィカス属

原産地は東南アジア(東南アジア熱帯気候区)インドです。和名はシダレガジュマル。



小ぶりな葉っぱを茂らせる観葉植物ですが、種類によって葉の形や色が違い、バリエーションを楽しめます。

緑のセンターには葉全体が「緑」単色のものと、白い葉に緑が入る「斑入り」の2種類があります。斑入りは特に存在感があって、下から見上げると異空間が広がります。強い日差しを避けさえすれば、水やりを多少欠いても成長してくれるほど生命力が強い育てやすい植物です。